

2024年5月13日

各位

会社名 メディアスホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池谷 保彦  
(コード番号：3154、東証プライム)  
問合せ先 取締役コーポレート統括本部長 芥川 浩之  
(TEL. 03-6811-2958)

**(訂正)「2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、2024年5月9日に発表しました「2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、数値データ(XBRL)につきましては、訂正はございません。

記

1. 訂正の理由

セグメント利益について、医療機器販売事業の利益が過小に計上され、介護・福祉事業の利益が同額、過大に計上されていることが判明したため、これを訂正いたします。

なお、セグメント間における利益の入り組みであるため、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書への影響はございません。

2. 訂正の内容

訂正の箇所には、下線を付しております。

添付資料2ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

**【訂正前】**

(省略)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業については、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金関連の備品案件の販売が減少したものの、新築案件に係る備品の販売があったことで、備品販売は前年同四半期と比較して増加しました。一方、消耗品については、検査試薬、PPE(個人用防護具)等の新型コロナウイルスに係る製品の販売は減少したものの、整形外科領域を中心に手術室関連製品の販売が拡大したことで前年同四半期と比較して好調に推移し、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

しかし、営業拠点の移転及び開設に関する費用の発生並びに物流関連コストの増加等により販売費及び一般管理費が増加したことでセグメント利益については減少いたしました。

この結果、売上高は188,751百万円(前年同四半期比6.5%増)、売上総利益は21,474百万円(同3.1%増)、セグメント利益(営業利益)は7,309百万円(同3.2%減)となりました。

## ②介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル事業及びストーマ製品の販売が好調に推移したことで、前年同四半期と比較して売上高、売上総利益及びセグメント利益は増加いたしました。

この結果、売上高は4,365百万円(前年同四半期比5.3%増)、売上総利益は1,871百万円(同16.5%増)、セグメント利益(営業利益)は526百万円(同67.1%増)となりました。

### 【訂正後】

(省略)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①医療機器販売事業

医療機器販売事業については、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金関連の備品案件の販売が減少したものの、新築案件に係る備品の販売があったことで、備品販売は前年同四半期と比較して増加しました。一方、消耗品については、検査試薬、PPE(個人用防護具)等の新型コロナウイルスに係る製品の販売は減少したものの、整形外科領域を中心に手術室関連製品の販売が拡大したことで前年同四半期と比較して好調に推移し、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

しかし、営業拠点の移転及び開設に関する費用の発生並びに物流関連コストの増加等により販売費及び一般管理費が増加したことでセグメント利益については減少いたしました。

この結果、売上高は188,751百万円(前年同四半期比6.5%増)、売上総利益は21,665百万円(同4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は7,500百万円(同0.6%減)となりました。

## ②介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル事業及びストーマ製品の販売が好調に推移したことで、前年同四半期と比較して売上高、売上総利益及びセグメント利益は増加いたしました。

この結果、売上高は4,365百万円(前年同四半期比5.3%増)、売上総利益は1,680百万円(同4.6%増)、セグメント利益(営業利益)は335百万円(同6.4%増)となりました。

## 添付資料9ページ

### 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

#### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

#### 【セグメント情報】

#### 【訂正前】

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	188,751,175	4,365,525	193,116,701	—	193,116,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,018	—	2,018	△2,018	—
計	188,753,194	4,365,525	193,118,720	△2,018	193,116,701
セグメント利益	<u>7,309,137</u>	<u>526,981</u>	7,836,119	△6,183,090	1,653,029

【訂正後】

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	188,751,175	4,365,525	193,116,701	—	193,116,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,018	—	2,018	△2,018	—
計	188,753,194	4,365,525	193,118,720	△2,018	193,116,701
セグメント利益	<u>7,500,505</u>	<u>335,614</u>	7,836,119	△6,183,090	1,653,029

以 上